

連続テレビ小説を生かした 観光振興基本計画書

(素案)

令和4年4月11日

令和4年4月

連続テレビ小説を生かした
博覧会準備委員会

目次

1 はじめに	2
2 開催の目的	3
3 開催概要	4
(1) 開催の基本方針	
(2) 開催期間	
(3) 事業主体	
(4) 名称等	
(5) メインエリア等	5
(6) 推進体制図	6
4 推進協議会の取り組み(受入環境整備)	8
(1) イベントの開催や周遊促進策	
(2) 地域の観光資源の磨き上げや観光客の満足度向上等	9
(3) 観光案内機能の強化	
5 推進協議会の取り組み(誘致・広報)	10
(1) 基本方針	
(2) 連続テレビ小説を契機とした全国向けプロモーション	
6 県・市町村・広域観光協議会の取り組み	12
(1) 将来にわたって活用できる観光基盤づくり	
(2) 地域の草花ガイドの養成	
(3) 周遊促進、観光客の満足度向上	
(4) 地域の活性化に向けて	13
(5) 市町村の取り組みに対する県からの支援	
7 県民参加によるおもてなしや地域活性化の取り組み	14
(1) 地域コミュニティと協働した取り組み	
(2) 学校等と協働した取り組み	
(3) 企業活動と協働した取り組み	

1 はじめに

高知県の県外観光客入込数は、大河ドラマ「龍馬伝」を追い風に「土佐・龍馬であい博」を開催した平成22年に、初めて400万人を超え435万人を記録しました。その後も「志国高知 龍馬ふるさと博」や観光キャンペーン「リョーマの休日」の取り組みなどにより、平成24年度からの第2期産業振興計画では、3年連続で400万人を超える入込数を記録しました。

平成28年度からスタートした第3期産業振興計画では、435万人観光の定常化を目標に掲げ、平成29年から開催した「志国高知 幕末維新博」では歴史観光の基盤を整え、2年連続で440万人を超えました。

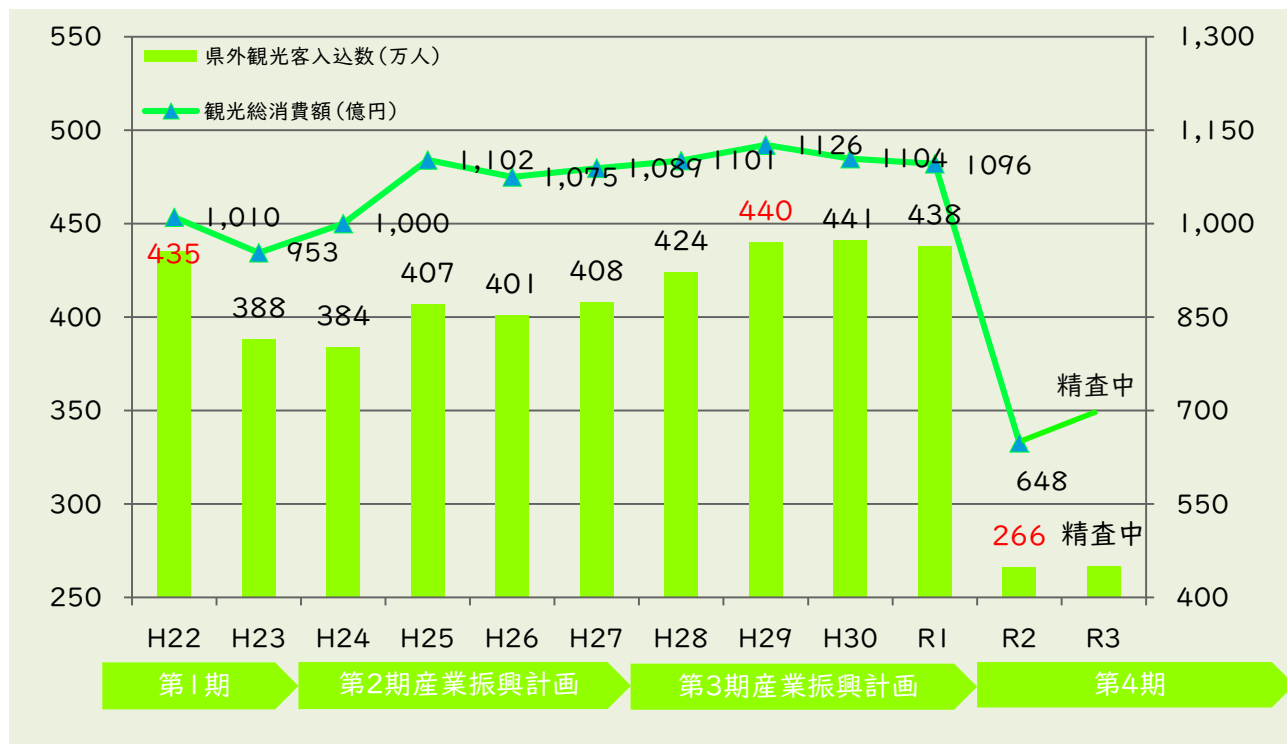
その後の「リョーマの休日～自然&体験キャンペーン～」では、本県の強みの一つである自然・体験型観光の基盤を充実させ、令和4年からは食を前面に出したプロモーションを展開しています。

しかしながら、新型コロナウイルス感染症の影響から、本県観光は今なお厳しい状況に直面しています。

このような中、本県出身の牧野富太郎博士をモデルとした連続テレビ小説が令和5年春から放送されることが決まりました。

この放送を本県の振興に最大限に生かすとともに、ひたすら草花に愛を注ぎ続けた牧野博士の精神や功績を後世に引き継いでいく取り組みを推進します。

県外観光客入込数及び観光総消費額の推移



2 開催の目的

■博覧会を通じて目指す姿

連続テレビ小説の放送を契機として、以下の3点を、強く意識して「いきいきと暮らしていける高知」の実現を目指す。

- 1、多くの県民の皆様が、草花を育むなど博覧会を通じた活動に広く係わることで、地域全体が元気を取り戻すきっかけとなること
- 2、牧野博士がその生涯を捧げた草花をテーマにした観光地づくりを進め、県観光の新たな基盤とするとともに、ドラマ終了後も地域の財産として残すこと
- 3、従来の本県への主たる観光客層に加えて、ドラマをきっかけとして、親和性の高い「女性」「若者」などの新しいターゲット層を取り込み、「高知ファン」の厚みを増すこと

博覧会を通じて、なにげなく眺めている風景や、当たり前前に存在する自然の美しさ、地域の営みの魅力などに改めてスポットを当て、地域の活力やサステナブルツーリズムの基盤となるよう展開していきます。

3 開催概要

(1) 開催の基本方針

令和5年4月から放送される連続テレビ小説『らんまん』を県観光の振興に最大限に生かすとともに、ひたすら草花を愛し続けた牧野博士の精神や功績を後世に引き継いでいく取り組みを推進する。

<取り組みの3つのポイント>

- ① コロナ禍により苦境が続いている県観光を復興させる起爆剤とする。
- ② 県民を巻き込んだ、官民一体の取り組みにより、牧野博士を生んだ高知県の魅力についてセールス&プロモーションを展開し、全国からの誘客を図る。
- ③ 県内各地域で牧野博士ゆかりの素材の発掘や磨き上げを進め、これまで磨き上げてきた地域の食・歴史・自然体験と連携し満喫していただけるよう、各地域での周遊や滞在促進を図る。

(2) 開催期間

令和5年3月25日(土)から令和6年3月31日(日)まで

(3) 事業主体

県、市町村、関係団体により組織する推進協議会を設置し、官民協働により事業を推進します。

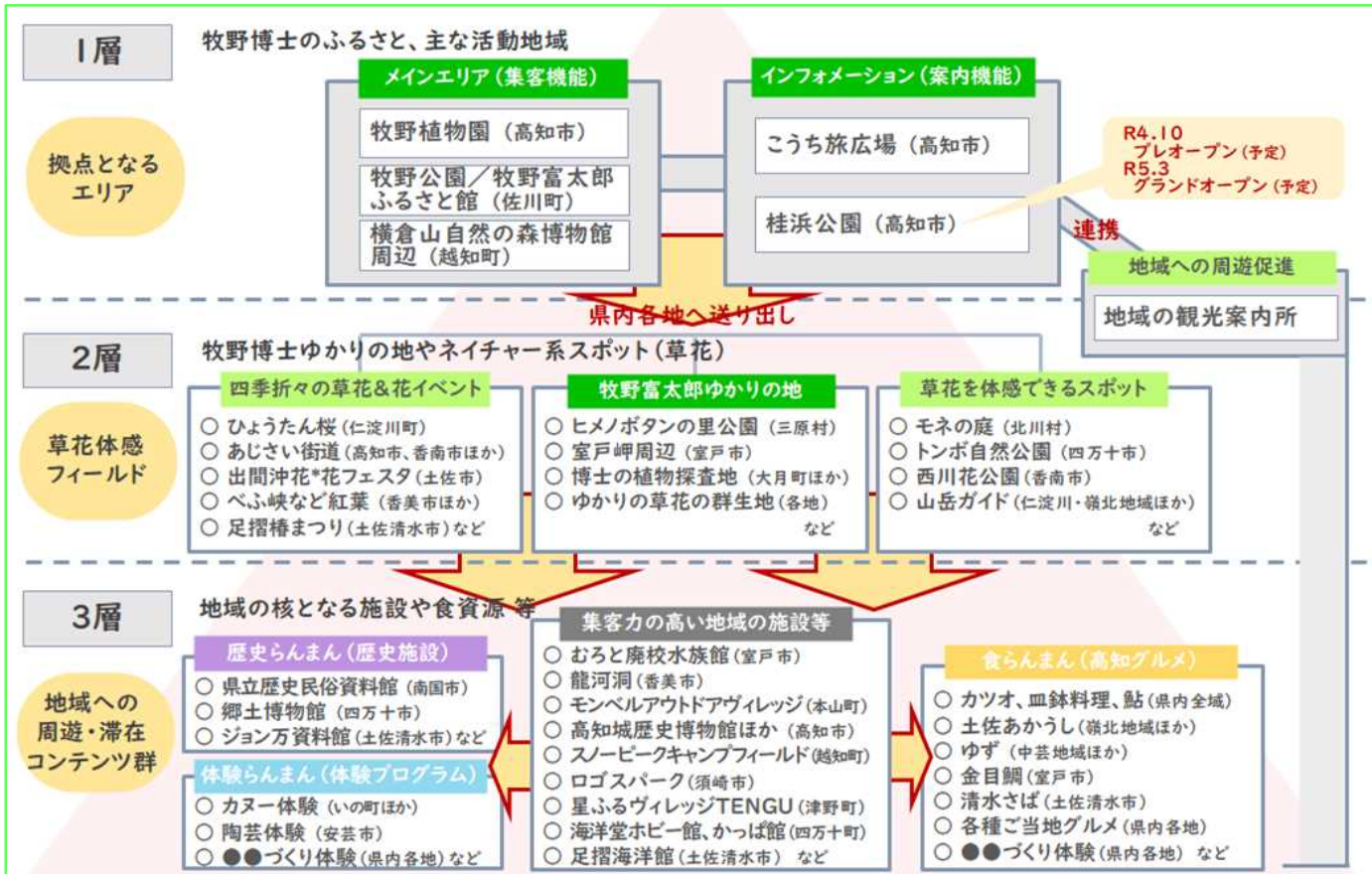
(4) 名称等

検討中

3 開催概要

(5) メインエリア等

県内各地域の牧野博士ゆかりのエリアや草花体感フィールドなどを活用し、メインエリアやインフォメーション機能、草花体感フィールド、周遊・滞在コンテンツ等を設定します。

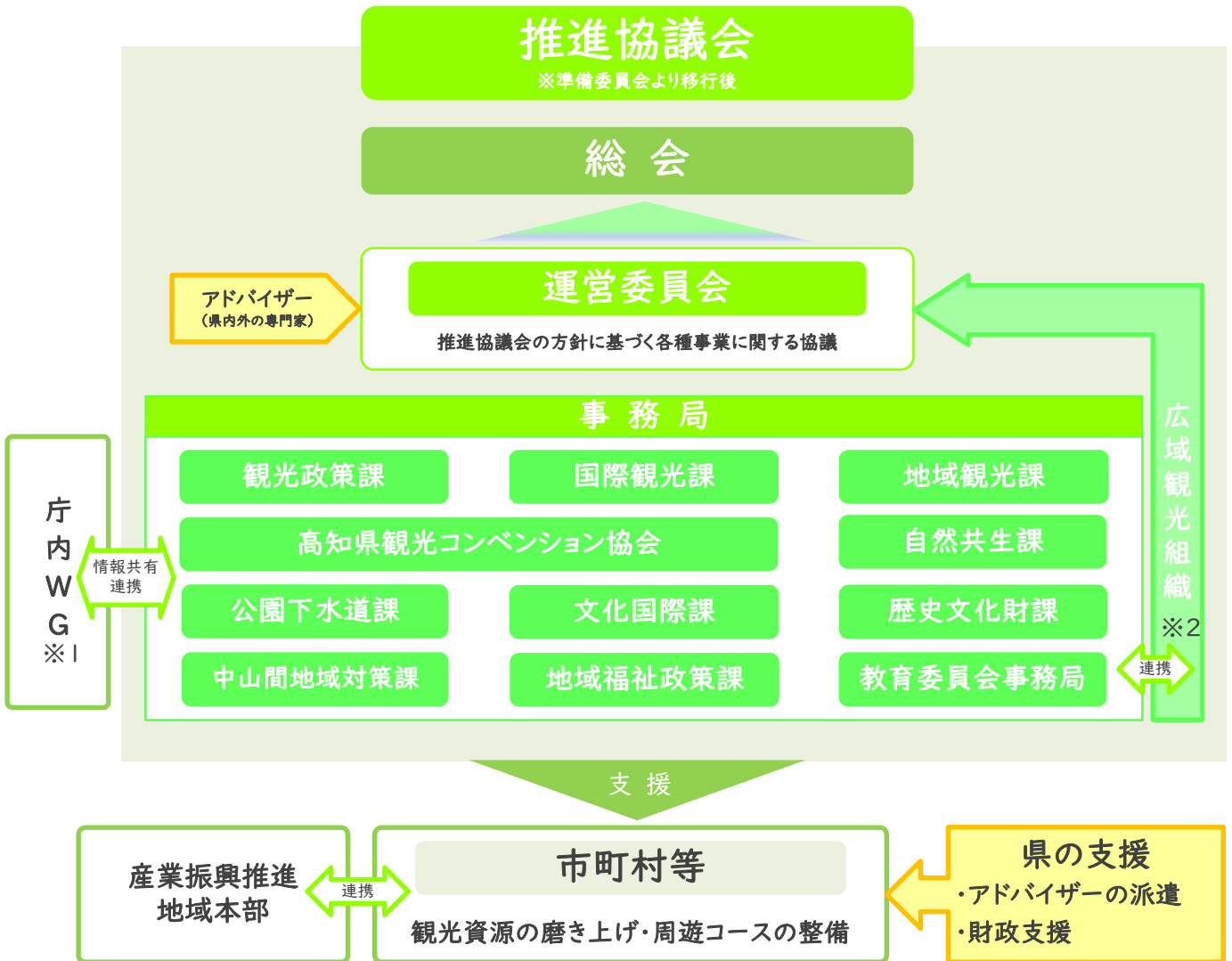


3 開催概要

(6) 推進体制図

① 推進協議会の設置

推進協議会を設置し、下部組織として運営委員会を置く。事務局は、県観光振興部各課及び関係課のほか、高知県観光コンベンション協会等が担う。



※1 市内WG: 県庁内の知事部局と教育委員会事務局で構成するワーキンググループ

※2 広域観光組織: 複数の市町村を活動エリアとし、広域的な観光地域づくりを担う一般社団法人。
高知県東部観光協議会、物部川DMO協議会、土佐いほく観光協議会、仁淀ブルー観光協議会、奥四万十観光協議会、幡多広域観光協議会の6法人。

3 開催概要

②推進協議会の役割

ア 事業計画の策定・実施に関すること

イ 事業の広報及びPR活動に関すること

ウ 関係団体等との調整に関すること

エ 前各項目のほか、事業の目的を達成するために必要なこと

③事務局の主な業務

ア 観光政策課

- ・推進協議会、運営委員会に関すること
- ・事務局の総括に関すること
- ・セールス及びプロモーションに関すること
- ・主催イベントに関すること

イ 国際観光課

- ・国内外の観光客の受入態勢整備の推進に関すること

ウ 地域観光課

- ・観光資源の磨き上げ、周遊コース整備の推進に関すること

エ 高知県観光コンベンション協会

- ・博覧会の事業推進に関すること

オ 自然共生課

- ・県立牧野植物園等に関すること

カ 公園下水道課

- ・都市公園に関すること

キ 文化国際課/歴史文化財課

- ・県立文化施設/歴史施設に関すること

ク 中山間地域対策課

- ・集落活動センターをはじめ、地域活動に関すること

ケ 地域福祉政策課

- ・ボランティア活動等の振興に関すること

コ 教育委員会事務局

- ・学校における野外活動等の推進に関すること

4 推進協議会の取り組み（受入環境整備）

(1) イベントの開催や周遊促進策

- 博覧会を盛り上げるイベントを開催するとともに、観光客を県内各地域へ誘う施策を展開し、滞在時間の延長や観光消費の拡大を図ります。

① プレイベント

- 開幕を迎える約2か月前から、県立牧野植物園をはじめ、県内各地域の牧野博士ゆかりの地などでの草花イベントや周遊促進、情報発信を行い、県内の機運を高めていきます。

② オープニングイベント

- 博覧会の開幕を全国にアピールする情報発信の機会ととらえ、オープニングイベントの企画・運営に取り組みます。

③ 特別イベント事業

- 「草花」や「食」などをテーマとして、季節ごとに話題性と集客力のあるイベントを開催し、来場者を県内各地域に誘導する仕掛けを施します。

④ 周遊促進事業

- 訪れた観光客を県内各地域の草花スポットや観光施設、体験プログラム、ご当地グルメなどへ周遊を促す企画を展開するなど、地域での観光消費を向上させる取り組みを実施します。

⑤ 二次交通対策事業

- 県内各地の観光スポット等をつなぐ移動手段を確保するため、広域周遊が可能なバスの運行、タクシープラン、レンタカープランなどの充実を図ります。また、交通事業者等と連携した企画切符の企画などにより、公共交通機関の利用促進に取り組みます。

4 推進協議会の取り組み（受入環境整備）

(2) 地域の観光資源の磨き上げや観光客の満足度向上等

- 県内各地域の草花をテーマに観光資源を磨き上げて新たな基盤づくりを進めるとともに、県民が主体となったおもてなし活動を推進します。

①地域支援事業

- 市町村が行う草花をテーマにした観光資源の掘り起こしや磨き上げ、ガイド養成などに関して、持続的な取り組みにつながるようアドバイザー派遣などによる支援を行います。また、博覧会と連動したイベントの開催や周遊促進策の展開、地域資源を生かした観光消費拡大の取り組みを支援します。

②渋滞対策事業

- 多客時に混雑が予想される牧野博士ゆかりのメインエリアを中心に、臨時シャトルバスを運行するなどの渋滞緩和策を講じ、観光客の満足度向上を図ります。

③地域活性化事業

- 空港や主要駅などの人通りの多い交通結節点や協力店舗等において、華やかさと彩りをもたらし花いっぱい運動を展開し、県民が主体となったおもてなし活動を推進します。
- ボランティア団体や集落活動センターなど県内各地域の主体による草花を育む活動を通じ、地域コミュニティの活性化、住民の健康づくりなど多様な効果につなげていけるよう、関連団体等と連携した普及活動を推進します。

(3) 観光案内機能の強化

- 県内の旬の観光情報を提供できるよう、市町村等と連携した取り組みを推進します。

①地域への周遊を促すインフォメーション機能の強化

- 観光客を県内各地域に誘導する施設として、「こうち旅広場」と「桂浜公園」の機能強化を図るとともに、デジタルツールの導入など連携した情報提供に取り組みます。
- 観光客が各地域の観光施設や博士ゆかりの地、花イベント、歴史、食、体験などの地域情報を容易に取得できるよう、各市町村等と連携した取り組みを強化します。

5 推進協議会の取り組み（誘致・広報）

(1) 基本方針

牧野博士のふるさと・高知を全国に訴求し、本県に注目を集める仕掛けをつくります。プロモーションにあたっては、シニア層といった従来の主たる観光客層に加え、自然や植物に関心の高い女性層や若年層といった新たなターゲット層にリーチできるよう取り組みます。

(2) 連続テレビ小説を契機とした全国向けプロモーション

- 高知県や高知県観光コンベンション協会との連携を図りながら、牧野博士のゆかりのスポットはもとより、高知ならではの歴史・食・自然体験などの魅力を絡め、全国に向けたプロモーションを展開します。

① マスメディアを活用した広報

- テレビ、新聞、雑誌等のマスメディアによる露出の拡大に取り組み、全国での話題化を図ります。
- 牧野博士のふるさと・高知の認知度を高めるため、テーマ性や物語性を持った効果的な情報発信を行います。
- 住地から近いエリアで旅行を楽しむマイクロツーリズムの動向も踏まえ、旬の草花やイベント情報に関する近隣県に向けたプロモーションを行います。

② 特設Webサイト、SNSの活用

- 特設Webサイトをはじめ、ツイッター、インスタグラムなどのソーシャルネットワーキングサービスを活用した情報発信に取り組みます。

③ PRツールの活用

- キャッチコピー、ロゴマークの活用のほか、ポスター、のぼり旗の掲出に県内の各種観光施設をはじめ、民間企業や事業者の協力もいただきながら、県内全域で一体感を持った情報発信を行います。

5 推進協議会の取り組み（誘致・広報）

④高知県、高知県観光コンベンション協会との連携による プロモーション等

旅行商品の造成

- 旅行会社へのセールス活動や、モニターツアー、誘客インセンティブ実施などを通じて、高知県を目的地とした旅行商品の造成と充実を目指します。

牧野博士のゆかりの地との連携

- 県外の牧野博士ゆかりの自治体が開催するイベントとの連携をはじめ、連続テレビ小説に関係の深い地域と連携したプロモーション展開を図ります。

地域への周遊を促すインフォメーション機能の強化【再掲】

- 観光客を県内各地域に誘導する施設として、「こうち旅広場」と「桂浜公園」の機能強化を図るとともに、デジタルツールの導入など連携した情報提供に取り組みます。

観光情報の充実【再掲】

- 観光客が各地域の観光施設や博士ゆかりの地、花イベント、歴史、食、体験などの地域情報を容易に取得できるよう、各市町村等と連携した取り組みを強化します。

交通情報の充実

- 観光客が目的地に容易にたどりつけるよう、各地域の交通情報の提供に取り組みます。

民間事業者等との連携

- 県が協定を締結している事業者をはじめ、県内外の民間事業者と連携した広報に取り組みます。

【参考】広報宣伝媒体の例

- ・公式ホームページ
- ・公式ガイドブック
- ・ポスター、のぼり旗
- ・チラシ、新聞・雑誌広告
- ・テレビ、ラジオCM
- ・交通車両へのラッピングや交通拠点での広告
- ・マスメディアへのパブリシティ
- ・地域におけるプロモーション
- ・ツイッター、インスタグラム等のSNS活用

6 県・市町村・広域観光協議会の取り組み

(1) 将来にわたって活用できる観光基盤づくり

- 連続テレビ小説の放送を契機に、ドラマのテーマと親和性の高い草花を生かした観光資源の掘り起こしや磨き上げを進め、シニア層といった従来の主たる観光客層に加え、自然や植物に関心の高い女性層や若年層といった新たなターゲット層の取り込みが図られるような観光地づくりを推進します。
- また、県内各地域の牧野博士ゆかりの地や四季折々の草花が楽しめるスポット等と、地域ならではの食、自然体験、歴史資源などを一体的に周遊していただけるコースづくを意識し、将来にわたって活用できる観光基盤となるよう取り組みます。
- こうした取り組みにあたっては、専門家の意見もお聞きしながら、オーバーツーリズム対策や地域住民、現地の草花への負荷の軽減など持続可能な受入環境整備の観点から、観光客に対するマナーの啓発等にも十分に留意していきます。

(2) 地域の草花ガイドの養成

- 県内各地域で草花を生かした観光地づくりを推進するにあたり、当該地域の草花の魅力はもとより、現地で代々受け継がれてきたストーリー（牧野博士との関わり、ガイドご本人などが地域で取り組む保全活動への愛着など）をセットで解説できるガイドの養成に取り組みます。
- その際、地域の食や歴史、自然体験などを一体的に組み込んだガイドコースを造成することや、周辺の観光情報を積極的に提供することなど、観光客の方に草花スポット周辺の観光資源にも周遊して立ち寄っていただき、地域内の観光消費を高めることを意識した取り組みを進めます。

(3) 周遊促進、観光客の満足度向上

- 草花の見頃などのタイムリーな情報発信や、周辺の観光資源を一体的にご案内して滞在時間の延長やリピーターの確保につなげられるよう、各地域の拠点となる施設等における観光案内機能の強化を図ります。県観光コンベンション協会や広域観光協議会等と連携した双方向のデジタルツール等による案内機能強化などの施策も検討していきます。
- 観光施設等で実施している新型コロナウイルス感染症対策の情報発信に努め、観光客の方に安心して訪れていただけるよう十分に配慮します。

6 県・市町村・広域観光協議会の取り組み

(4) 地域の活性化に向けて

- 観光客が旅行先で最も楽しみにしている行動の第1位は「おいしいものを食べること」であり、また観光地で追加する消費行動として最も多いのは「食」という調査結果があります。観光客の方に高知県や各市町村を旅行先として選択していただく可能性を高め、域内の観光消費拡大を図っていく観点で、グルメの磨き上げや土産品の開発は非常に有効な施策であることを踏まえ、地域ならではの食資源を生かした取り組みを進めます。
- 博覧会の取り組みを通じて、学校での教育活動等と連携した自然学習などの機会の創出に努め、牧野博士の精神や功績を後世に引き継いでいく取り組みを推進します。
- 地域における観光振興やおもてなし活動に多様な関係者を巻き込みながら推進していく観点から、当たり前存在する自然の美しさを守り、草花を育てていくような活動について、ロードボランティアや各種地域団体等にも幅広く協力を求めながら、地域コミュニティの維持や活性化につなげていきます。

(5) 市町村の取り組みに対する県からの支援

- 推進協議会が取り組む「4(2)① 地域支援事業」のほか、草花スポットの整備（草花の案内板や遊歩道、休憩所等）及び草花ガイドの運営に係る備品類の整備、観光案内機能の強化などに取り組む市町村に対し、アドバイザーの派遣や財政的な支援を行います。
- このほか、産業振興や地域の活性化に関する様々な取り組みに関して、産業振興推進地域本部を中心として各種支援を行います。

7 県民参加によるおもてなしや 地域活性化の取り組み

(1) 地域コミュニティと協働した取り組み

- ボランティア団体や集落活動センターなどでの花や植樹の活動を通じて、県内でのおもてなし機運の醸成や住民の方の生きがいづくりなどにもつなげていくことで、地域地域が将来にわたって「いきいきと暮らしていける高知」の実現を目指します。

(2) 学校等と協働した取り組み

- 学校において牧野博士の精神や功績を学ぶ機会を増やすとともに、野外活動や地域資源を活用した土産品開発など、学習効果の向上と地域貢献の双方につながる取り組みを検討していきます。
- 中学校、高校、大学等の若い世代の方に観光ガイドとして関わっていただくなど、地域振興や地域貢献につながる取り組みを検討していきます。

(3) 企業活動と協働した取り組み

- 草花をテーマにした地域活動や伝統的な行事などについて、地域と企業などの民間活力との協働を促進し、将来にわたって地域の活性化につながっていくような取り組みを検討していきます。